

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：人文社会科学部

1 学部概要 ※各課程分は後述

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通部分》 ※各課程分は後述

(1) 知識・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考・判断

多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えることができる人

(3) 関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

(4) 技能・表現

自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(5) 主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語——読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・英語——基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・地歴・公民——日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・数学，理科——論理的思考力，及び自然科学の基本的知識
- ・高校生活全般——他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では「知識・理解」「思考・判断」を評価し、個別試験では「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」を評価します。

(2) 一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では「知識・理解」「思考・判断」を評価し、個別試験では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。

(3) アドミッション・オフィス入試

第1次選考の書類審査・面接では、高等学校時代までの校内・校外の諸活動、その他の社会活動から見える「主体性・協働性」を、課題文の要約及び出願理由書・実績記入書の内容から「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」を評価します。第2次選考については、集団討論で「思考・判断」「技能・表現」「主体性・協働性」を、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書・実績記入書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(4) 推薦入試

人間文化課程（小論文選択）と地域政策課程については、小論文で「思考・判断」「技能・表現」を、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

人間文化課程（スポーツ選択）については、小論文で「思考・判断」「技能・表現」を、面接では運動歴調査書の記載内容も含めて「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。人間文化課程（美術選択・書道選択）については、実技検査で当該分野の基本的な「技能・表現」を評価し、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(5) 私費外国人留学生入試

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・理解」「思考・判断」を、小論文では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要 ※学部分は上記参照

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《課程分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考・判断

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人

(3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について世界及び地域双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 技能・表現

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための語学力と基礎的な技能を身につけているとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(5) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要 ※学部分は上記参照

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《課程分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解

社会・環境について学ぶための基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考・判断

複雑に絡み合う社会・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人

(3) 関心・意欲

社会・環境をめぐる諸問題について、法・経済・環境の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 技能・表現

社会・環境に関する自分の考えをまとめ、積極的に発信しようとする人

(5) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働して地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

<別表> 検査方法と評価要素

(1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般(後期)	現代の社会・文化に関し広く関心が持たれている事柄、及び学問・科学・教育・教養など広い意味での「学ぶこと」「考えること」に関する事柄をテーマとして、「思考・判断」「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	推薦(人間文化課程小論文選択・スポーツ選択, 地域政策課程)	提示した問題・課題を通して、「思考・判断」「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、日本語に関する「技能・表現」、及び「思考・判断」に関する基礎的な能力を判定する。
集団討論	アドミッション・オフィス2次	人間文化課程では、人間と文化に関する資料(映像・文献等)に基づいて、自分の意見や感想をまとめた後、ディスカッションを行う。地域政策課程では、提示された社会科学・環境科学に関するテーマについてディスカッションを行い、その後にディスカッションに関するまとめのレポートを作成する。両課程とも、これらを通じて「思考・判断」「技能・表現」「主体性、協働性」について判定する。
書類審査・面接	アドミッション・オフィス1次	書類審査と、面接において課題文の要約の発表、出願理由書・実績記入書についての質疑、及び1分間の自己PRを行い、「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」「主体性、協働性」について判定する。
面接	アドミッション・オフィス2次	人間文化課程では、出願理由書及び実績記入書の内容に関する質疑を行う。地域政策課程はそのほかに集団討論に関するレポート発表も行う。両課程とも、これらを通じて「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
面接	推薦	推薦書・出願理由書・調査書・運動歴調査書(人間文化課程スポーツ選択のみ)に関する質疑を行うことによって「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
実技検査	推薦(人間文化課程美術選択・書道選択)	美術選択はデッサン、書道選択は臨書の実技検査を行うことによって、当該分野の「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
運動歴調査書	推薦(人間文化課程スポーツ選択)	高等学校までの校内・校外での運動歴を記入する。これによってスポーツの「技能・表現」に関する基本的な能力を判定する。
出願理由書	アドミッション・オフィス 推薦 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考・判断」「関心・意欲」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	アドミッション・オフィス 推薦	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・理解	思考・判断	技能・表現	関心・意欲	主体性・協働性
(センター試験)	一般(前期)					
	一般(後期)	○	○			
個別学力検査 <教科>	一般(前期)	○	○	○		
	一般(後期)					
小論文	推薦(人間文化課程小論文選択・スポーツ選択, 地域政策課程)		○	○		
	私費外国人留学生					
書類審査・面接	アドミッション・オフィス 1次		○	○	○	○
面接	アドミッション・オフィス 2次			○	○	
	推薦 私費外国人留学生					
集団討論	アドミッション・オフィス 2次		○	○		○
実技検査	推薦(人間文化課程 美術選択・書道選択)			○		
運動歴調査書	推薦(人間文化課程 スポーツ選択)			○		
出願理由書	アドミッション・オフィス					
	推薦 私費外国人留学生		○		○	
調査書	アドミッション・オフィス	○				○
	推薦					
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○			

※一般入試(前期日程), 一般入試(後期日程)においては調査書は総合判定時の参考とする。